

## 7：尿潜血（健診で尿潜血陽性と言われた）

健診などの尿検査でテープ検査で潜血陽性と言われる方は**1－2%程度**います。そのうち、**90%**は治療を要する大きな病気はないと言われていますが、**4%**程度に尿路のがんが発見されたとい報告もあります。ただし、尿蛋白陽性の時などには腎炎や腎症といった内科的疾患も考える必要がありまる。

以前はCTや膀胱鏡など行われていましたが、現在は検尿で**顕微鏡的血尿**（顕微鏡検査で尿中の少数の赤血球）と判れば、**超音波検査**と**尿細胞診**を行い、異常がなければ、**3年間定期的**（3－6ヶ月毎）に外来で観察し、それ以降は健診で経過観察として良いと考えられています。

上記の検査で異常があったり、喫煙者などには、膀胱鏡や造影CTも行います。原因疾患については血尿参照。